

生活行為向上マネジメント推進プロジェクト特設委員会からの情報発信

生活行為向上推進プロジェクトニュース

平成 28 年 10 月号 No.16

目次／平成 28 年 10 月号

■重要なお知らせ

■協会やプロジェクトの動き

プロジェクト事業, 研修修了者数(9 月末現在)

■プロジェクトからの連絡

1. 平成 28 年度 起業者向け研修会報告
2. MTDLP 事例班から合同審査の報告
3. MTDLP 指導者研修会 受講対象者の変更
4. その他
5. 協会事務局からのお知らせ

重要なお知らせ

担当理事 土井 勝幸

協会も 10 月に入り次年度予算の申請時期となりました。それに合わせてプロジェクトも予算の申請のため、次年度事業計画の骨組みに取り掛かっています。10/22 に本部会議を開催し、次年度のプロジェクトの取組みを話し合いました。詳細については、次年度予算が確定してからでないのご報告は出来ませんが、基本的な考え方として、プロジェクトは時限的な取り組みであり、平成 29 年度が最終年度という位置づけとなっています。

一方で指導者の育成を含めた研修修了者の数が当初目標とはかけ離れている実態もあります。生涯教育制度に位置づけられていますが継続して目標に向けた研修体制の充実が必要な状況は変わりありません。推進委員の皆様にとって知りたいことは、プロジェクトが 29 年度末で終了した後、どのような形で協会としてのフォロー体制が維持されるのか？推進委員はどのようなのか？等々かと思えます。

これらについては、次年度の推進会議の開催を平成 29 年 6 月 10, 11 日（予定）にて計画していますので、その際に皆さんにお示しをしたいと考えています。今年度より年に一度の推進会議となりましたが、次年度も同様の開催となります。

推進委員の皆様にとって重要なことは、47 委員会等を通じ、士会代表の皆様へのご理解とそれを踏まえた士会教育部との連携体制の円滑化であろうと考えています。プロジェクトがある一定の役割を終えたとしても、推進委員の皆様の継続的な支援を維持出来る体制・仕組みづくりを検討して参ります。

尚、次年度の推進会議も推進委員の旅費は協会負担、士会推薦者一名（旅費士会負担）までのご参加いただけるように会場を確保いたします。

士会毎の予算作成のご参考にしていただければ幸いです。

どうぞよろしくお願い致します。

協会・プロジェクトの動き, 情報

プロジェクト事業

- ・ 10 月 22 日(土)リーダー会議 本部会議（日本作業療法士協会）終了
- ・ 11 月 26 日(土)、27 日(日)事例合同審査会（日本作業療法士協会）

■研修修了者数（9月末現在） 会員数 54,054名

| | | |
|----------------|--------|-------|
| MTDLP 概論・演習受講者 | 15593名 | +909名 |
| MTDLP 研修修了者 | 3033名 | +56名 |
| MTDLP 指導者 | 90名 | +0名 |

■ プロジェクトからの連絡

1. 平成28年度 起業者向け研修会報告

ビジネスモデル班 有村 正弘

去る、9月4日（日）に首都大学東京をお借りして、標記研修会を開催しました。研修会のテーマは「起業者OTの武器にMTDLPをーMTDLPと起業者の今後を考える」とし、2つの講演に実践報告とシンポジウムの3本立てで企画しました。講師陣は、村井千賀氏（前厚労省課長補佐）や佐藤孝臣氏（日本作業療法士協会理事・株式会社ライフリー）、それに実践報告・シンポジストとして、谷川真澄氏（MTDLP推進プロジェクト委員長・有限会社なるぞ）や茂木有希子氏（株式会社ハート&アート）と非常に豪華な顔ぶれとなりました。

当日の参加者は53名、九州に近づいていた台風の影響でキャンセル等もあり、定員の80名には届きませんでした。それでも北海道から沖縄まで全国各地から起業者のみでなく、病院や老健、通所施設、専門学校等に所属されている方もご参加いただきました。

今回の内容としては、テーマの通り、起業者OTまたはそれを目指している方を対象に、それらの事業の中でMTDLPを有効に活用していただきたいという趣旨のもと、その多くが介護保険の通所介護事業を運営されているということから、そこに特化した企画を考えました。私自身の準備や確認不足もあり、企画者としては反省すべき点が多くありましたが、制度に精通した講師や先駆的な事業をしている講師の方々の話は大変参考になったのではないのでしょうか。

この研修会はパイロット事業として今年度一回のみの開催の予定ですが、今後は多くの事業所でMTDLPを実践し、ぜひ、地域に作業療法士のチカラを魅せていただきたいと思います。最後になりますが、遠方よりご参加いただいた参加者の皆様、そして講師の皆様、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

2. MTDLP 事例班から合同審査の報告

事例登録班 田村 大

今年の1月～3月に登録されたMTDLP事例登録数は、一般事例報告の1年分に相当します。そのため事例報告の登録から審査終了まで非常に時間がかかっています。現在2月までに登録された事例審査が終了し、3月～4月に登録され

た事例の審査を行っています。審査待ちの方は大変申し訳ありませんが、登録順に審査を行っておりますので、もうしばらくお待ち頂くようお願い致します。

審査スピードを早めるために、合同審査会を

開催しました。7月23日24日に日本作業療法士協会京都サテライト会議室で、33名の審査員の参加があり、180事例の審査を行いました。合同審査会については11月と来年1月の開催が予定されています。

宮城県と熊本県で開催される全国研修会に

MTDLPの関連プログラムがあります。その中でMTDLP事例登録についての解説がありますので、是非ご参加ください。また最新のMTDLP事例審査の進捗についてはこちらでご確認下さい。
<<http://mtdlp.jp>>

3. MTDLP 指導者研修会 受講対象者を変更しました！

指導者研修実行支援班 竹内さをり

「MTDLP 指導者研修会」(平成29年2月11日(土)、12日(日)、場所：新大阪)の受講対象者を下記に変更しましたのでお知らせ申し上げます。

関係の方々へご周知いただき、皆さまのご参加をお待ちしております。

**◆新規対象者：OT協会 MTDLP 指導者、各士会 MTDLP 推進委員
各士会 MTDLP 暫定ファシリテーター**

なお、昨年度の指導者研修会を受講された方も受講いただけますので、ご参加ください。研修の詳細は、協会HPの研修会案内にてご確認ください。

★研修会案内 http://www.jaot.or.jp/post_education/kenshuuunei.html★

4.その他

連携システム班 濱田 正貴

MTDLP 関係メディア,雑誌情報

◎マニュアルが改訂されました。今後の研修は、改訂版を使って行うようにお願いします。

57:生活行為向上マネジメント第2版 1000円

5. 協会事務局からのお知らせ

事務連絡

・『作業療法マニュアル57』を購入する際は、[協会ホームページから注文書をダウンロード](#)してご注文ください。発送までには1週間~10日かかりますので、ご注意ください。

編集/生活行為向上マネジメント連携システム班(担当:濱田)